



Close up

*総会特集

2011.

APRIL
4
No.016

総会特集

当農協関連団体定期総会全体会議終了

平成23年度 各生産組合・部会及び各外郭団体代表者名

農産部関係

花卉生産組合

組合長 窪田正明

玉ねぎ部会

部会長 北西国博

肉牛生産組合

組合長 池内勝美

青年部

部長 原口直之^(新)

習字サークル

会長 塚谷明美^(新)

もち米生産組合

組合長 堀井浩明

ごぼう部会

部会長 赤松明弘^(新)

和牛生産組合

組合長 清水 豊

女性部

部長 以頭久美子^(新)

年金友の会

会長 神谷充雄

採種圃生産組合

組合長 稲垣勝義

ゆり根部会

部会長 福田秀利

あか牛部会

部会長 長島典雄

青 年 部

会長 永田弘子^(新)

ボランティアグループ

会長 田村奉美^(新)

食用馬鈴薯生産組合

組合長 柏木且通^(新)

アスパラ部会

部会長 野上正英

黒牛部会

部会長 清水 豊

年金友の会

会長 永田弘子^(新)

「はいべの会」

そ菜生産組合

組合長 福田秀利

南瓜部会

部会長 島田伸一

フレッシュユミズ

会長 榛澤清美^(新)

もぎたて部会

会長 田村奉美^(新)

食品加工サークル

会長 赤松明彦

タ市の会

会長 原 節子^(新)

神谷真寿美^(新)

JA TOKACHI IKEDA

2月上旬から3月下旬に亘り、当農協関連団体の定期総会及び全体会議が終了致しました。

関連団体は、農産部関係が5生産組合と7部会、畜産部関係が2生産組合と1振興会と2部会、青年部、女性部関係、年金友の会、ボランティアグループ「はいべの会」もぎたて部会で紙面の都合上、代表者のみ名前掲載させて頂きます。(敬称略)

畜産部関係

外郭団体

部会長 中西悦夫

部会長 村中善一郎

青年部長挨拶

部長原口直之（新）

この度の青年部通常総会において部長を仰せつかることとなりました。微力ながら精一杯この大役を務めて参りますので部員並びにご家族の皆様、組合員及び職員の方々、宜しくお願い致します。

まずは青年部単組事業でありますが、現在の主力事業である教育事業は今年も親子体験型として2年目を迎えることとなりました。女性部・各種関係機関と一緒に連携し、部全体で協力しながら、多くの家族と触れ合い、食の喜びを分かち合つていきたいと思います。

そして農協運営の学習と話し合いを青年部としても積極的に取り組むべく、今年は青年部・

農協の双方の間で要望の高かつた組合長懇談会に青年部役員を対象で初開催。また一般部員につきましては地区懇談会への参加を促進していきたいと考えております。

また今年度より～全青協で新たに取り組むこととなつたボランティアブック（政策提言集）単組版の作成もあり、例年以上に多忙な一年になることが予想されます。どの事業にも部員の結束力が不可欠であり、ご家族のご理解が得られるよう紙面を借りて改めてお願ひすると共に、農協・各種関係機関のご指導・ご協力を頂けますようお願ひ申し上げます。

終わりとして誠に恐縮ながら、



4月号CONTENTS

表紙	1
Close up	2
21NEWSアラカルト	4
金融共済課より	6
宮農部通信	8
農産部通信	10
畜産部通信	12
今月のオススメ	14
理事会の動き	14
編集後記	14



表紙

3月28日（月）、3月総会において決定した青年部三役及び女性部三役、そして鈴木組合長との集合写真を撮影しました。

前列左より、青年部長・原口直之さん、鈴木組合長、女性部長・以頭久美子さん。

後列左より、青年部書記長・朝川知輝さん、副部長・山内道治さん、副部長・水上裕喜さん。女性部副部長・中西邦江さん、副部長・十河明美さん。



私見を述べさせて頂きますと、青年部は飲み仲間が集まれる場ではなく、共に成長し合える仲間が集まれる場であると思っています。研修会・事業等で知識や見聞を深めることはもちろんですが、協調性や社交性、お互いを刺激し合うことで競争力も芽生え、人間性も向上することになります。部員同士で成長が実感できるような、そのような青年部活動を一年間展開していくればと願います。

最後になりますが、3月11日に発生した東北関東大震災において被災された方々・関係者の皆様に、おかれましては、心よりお見舞い申しあげると共に、これから復興に対しても青年部、そしてJA十勝池田町として出来る限り協力できることを積極的に行って頑張りたいと思います。

最後になりましたが、農業販売部門の『むぎ畠』では昨年より自分たちで作った大豆で味噌を作り安心安全を大きく掲げ販売をしております。

タ市のみについては会員が減少しているものの、昔ながらのタ市をやってみようということで今年よりタ市のみで野菜の販売を計画しています。

今後もより活発で笑顔が溢れる女性部としていきたいたいと思います。

最後になりましたが、農業協同組合及び各種関係機関のご指導・ご協力を頂けますようお願い申し上げます。

女性部長挨拶

部長以頭久美子（新）

第22回女性部定期総会において部長という大役を任せられることになり、ただいま頭の中が真っ白な状態です。

女性部総会も無事終了、新

支部長も決定し、これからどう

いつ時に起こった東北関東大

震災。地震・津波による大勢

の死者・行方不明者がが出たこ

とににより、自然の恐ろしさを

再び実感致しました。

さて、女性部につきまして

申しあげると共に、これから復

興に対しても我々青年部、そしてJA十勝池田町として出来る限り協力できることを積極的に行い、被災地に希望が届けられますことを切に願いまして挨拶に代えさせて頂きたいと思います。

サークル活動についてせん

和牛生産組合黒牛部会

管内視察研修 を実施



3月24日、和牛生産組合黒牛部会による管内視察研修が開催され、音更町駒場の（独）家畜改良センター十勝牧場を視察して参りました。

同牧場は肉用牛・乳用牛・馬・めん羊について畜産新技術を活用した改良増殖を行い、黒毛和種においては、平成9年度から本格的に優良受精卵移植技術を活用した育種改良に着手し、種雄牛造成を念頭においた育種等に取り組んでおられます。

到着後は、事務所内において、鈴木場長より黒毛和種種雄牛情報など、貴重な講演を聞かせて頂き（写真）、その後牧場へ移動し、実際に飼養されている黒毛和種の子牛・親牛・種雄牛等を見学させて頂きました。どの牛舎も衛生管理が徹底されており、子牛の治療が少ないというのも、納得できました。

今回参加された組合員の皆様も子牛の育成技術等について熱心に聞いておられ、大変有意義な視察研修となりました。（記事・畜産部畜産課 米川 武）



農協友の会

第21回 定期総会 開催

十勝池田町農協友の会の第21回定期総会が2月24日、十勝川温泉ホテル大平原にて開催され、会員19名が出席されました（写真）。

平成22年度の事業報告・収支決算書の承認に続いて、平成23年度事業計画・収支予算案の設定について協議が行われました。研修旅行については6月に実施する方向で役員会の中で協議していくこととなりました。その他、パークゴルフ大会を7月と10月で予定しております。

総会後は親睦会が行われて、和やかに懇親し温泉で日頃の体の疲れを癒し楽しいひと時を過ごされました。

（記事・管理部管理課長 遠藤泰志）

21NEWS アラカルト



今日のニュース

- ▶和牛生産組合黒牛部会
管内視察研修を実施
- ▶農協友の会
第21回定期総会開催
- ▶農産課
小豆氷温ストレージ
「NHK」「家の光」が相次いで取材！
- ▶農産課
「畑作技術研修会」開催

農産課

小豆氷温ストレージ 「NHK」「家の光」が 相次いで取材！

去る2月25日（金）NHK総合テレビの北海道ネットワーク（午後6時10分～）に当JAの小豆氷温ストレージ結氷調査の模様が、放映されたのをご存知でしょうか？わずか2分程度ですが、ご覧になった方はいらっしゃるかも知れません。

当日の取材は、NHKのリポーターとカメラクルーによる取材が行われ、現場にはいつものリラックスムードではなく緊張感が漂いました。特に本ストレージの設計段階からご協力頂いた北海道大学環境システム工学の濱田助教授にリポートが集中し助教授も緊張気味のようでした。

3月2日（水）には、全国家の光協会による取材も来所し、農協の取組として、環境負荷軽減（二酸化炭素削減）経緯や付加価値販売への今後の発展性について取材して頂きました。

記事については、家の光6月号に掲載予定で氷温ストレージの取組が北海道版に掲載される予定です。今からどのような記事なるかとても楽しみです。

小豆氷温ストレージの結氷調査結果と2010年の貯蔵結果については、次号に掲載します。

（記事・農産部長 大塚 節）



貯氷庫にて取材中のNHK



農産課

「畑作技術 研修会」開催

例年実施しております十勝農業改良普及センター十勝東部支所による「畑作技術研修会」が3月18日（金）農協本所事務所2階大会議室において開催されました（写真）。

平成22年の反省と対策及び各機関での調査・研究結果事例等の紹介として、昨年の気象と作況、農作業事故の実態と対策、新技術・新品種の紹介、きたほなみの肥培管理・赤かび病防除について、十勝における簡易耕の事例紹介や傾斜均平化と泥炭土等の事例紹介など多岐にわたった内容となりました。

今年は例年に比べ出席された生産者の数も多く、昨年・一昨年と過去2年続けての不作の影響や、新しい農業制度への移行などもあり、今年度における農業生産への意欲が伺え、普及センター職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

また、農協「指導チーム」の今後の活動計画としましては、普及センターと連携の上、小麦・てん菜・長いも等を中心に研修会や青空教室（現地研修会）等の開催を計画しておりますので、多数の皆さんのご出席を宜しくお願い致します。

（記事・農産部農産課次長 今井敬貴）

金融共済課より

5月1日受付締切

JAの傷害共済

日常生活や農作業において様々な災害が起こりますが、生命共済に加入していれば大丈夫でしょうか？災害にて、万が一のとき生命共済があれば万全ですが、後遺障害になったときどうしますか？後遺障害になっても、ほとんどの場合、本人に意識はあり人生はまだまだ続きます。

そうすると生活費が必要になりますが、生命共済の「災害給付特約」で充分ですか？ですから、「傷害共済」をおすすめいたします。

ご契約例 (0~69歳加入) 掛金17,250円 共済期間1年間

普通傷害死亡共済金額 1,000万円 部位・症状別治療金額 5,000円

万一死亡の場合 1,000万円

(災害受けた日から200日以内にその災害により死亡したとき)

後遺障害の場合 1,000万円~50万円

(災害受けた日から200日以内にその災害により後遺障害になったとき、その程度によりお支払します)

さらに

重度後遺障害費用共済金

(A級後遺障害) (B級後遺障害)

200万円 100万円

(災害から200日以内に、別に定める重度障害の状態になったとき、その程度によりお支払します。またこの共済金は「災害給付特約」にはついておりません)



災害にあわれた日以後その災害により200日以内に入院されたとき、または入院されなかった場合で5日以上の通院をされたとき

部位・症状に応じての場合 2.5~60万円

(部位・症状別治療共済金額×5倍~120倍)

例：頭を打撲したとき（部位：頭部、症状：打撲）…………… 5倍 2.5万円

例：腕を骨折したとき（部位：上肢、症状：骨折）…………… 35倍 17.5万円

※いずれも、約款上の支払事由を満たした場合に限り、共済金をお支払いします。

災害にあわれた日以後その災害により200日以内に入院されなかった場合で

5日未満の通院をされ、治療が完了したとき 1万円

(部位・症状別治療共済金額×2倍)

掛 金 例

1級・0~69歳の場合	掛金 17,250円
死亡・後遺障害	1,000万円 部位・症状別治療共済金額 5,000円
1級・70~80歳の場合	掛金 7,840円
死亡・後遺障害	500万円 部位・症状別治療共済金額 2,000円
1級・81~99歳の場合	掛金 8,270円
死亡・後遺障害	50万円 部位・症状別治療共済金額 2,000円

お問い合わせ

J A 十勝池田町

本所金融共済課 ☎ 572-3131

池 田 支 所 ☎ 572-3132

●ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

●上記の掛金は集団割引（500~999人）での被共済者1人あたりの掛金例です。上記の掛金は平成23年9月30日まで有効です。

●職業・年齢・スポーツの種類などにより、加入の制限及びお引き受けできないこともあります。

10013746027



平成23年仕組み改訂 保障がさらに充実しました! 「むてき」

建物更生共済

**契約日が平成16年4月1日以後の
建更共済「むてき」には遡及適用されます!**



風災、ひょう災、雪災時に5万円の損害から共済金が支払われます

平成22年までの建物更生共済では、風災・ひょう災・雪災による損害額が20万円以上の場合に共済金が支払われましたが、5万円以上の損害でも共済金が支払われるようになりました※1。



盗難被害にあった時に、5万円が支払われます

共済期間中に盗難によって損害が生じたことにより、火災共済金または通貨等盗難共済金の支払事由に該当した場合は、盗難による損害の再発防止のために、共済期間中1回を限度に5万円を支払います※2。



水災によっても残存物とりかたづけ費用共済金が支払われます

従来、火災等・風災・ひょう災・雪災に限り支払われていた残存物とりかたづけ費用共済金が水災によっても支払われるようになります。

J Aの建物更生共済は様々な損害を保障します!

火 災



落 雷



水ぬれ



盜 難



台 風



降 雪



地 震



火山噴火



あなたの大切な財産を守ります!

※1 ①損害割合5%以上、②損害割合が3%以上（床下浸水除く）のいずれかに当てはまる場合。

※2 継続特約付建物更生共済契約における盜聴再発防止費用共済金については、10年の共済期間ごとに1回の支払いとなるため、継続回数1回の場合（通算共済期間が20年）は通算2回の支払い、継続回数2回の場合（通算共済期間が30年）は通算3回の支払いとなります。

お問い合わせ

JA十勝池田町
本所金融共済課 ☎572-3131
池田支所 ☎572-3132

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

JA共済

10013746028

営農部通信

営農部
営農課

▶ 東北地方太平洋沖大地震にかかる JAグループ支援募金活動を実施しています

この度の東北地方太平洋沖地震により被害を受けられた皆様に心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

3月11日に発生した巨大地震や津波により、東北地方（岩手県、宮城県、福島県、茨城県等）が大きな被害を受けるとともに、道内においては船舶、養殖施設の破損等漁業関係の被害が発生しております。

このような状況に対応し、地域の生活を守る協同組合組織として、東北地方の被災者、並びに道内関係者への支援のため、「東北地方太平洋沖大地震にかかるJAグループ支援募金活動」を展開しております。

組合員の皆様には部会を通じての義援金のご協力をいただき大変ありがとうございました。

集められた募金につきましてはJA北海道中央会で集約しJA全中を通じて東北の被災県（岩手県、宮城県、福島県、茨城県等）へ送金されるとともに道内の漁業団体にも送られます。

又、引き続き募金箱を4月22日（金）まで、本・支所金融窓口、店舗、スタンド、生産資材課に設置しておりますのでご賛同いただける方につきましてご協力お願い申し上げます。

▶ 第2回 組合員と人材派遣会社の意見交換会の開催について

第5次振興計画で掲げておりました組合員への労働支援の一環として人材派遣会社との提携により昨年度より斡旋を開始しております。平成22年度は8戸の申し込みがあり利用農家からは大変好評を得ております。

本年度につきましては、組合員の要望を取り入れさらに使いやすく組合員の皆様から喜んでもらえるように提携先3社と組合員との第2回目の意見交換会を3月10日（木）に農協会議室にて開催致しました（写真）。色々な意見も出ており本年度は組合員宅への機械運転等のオペ

レーターの派遣も現在検討中ですので派遣希望農家の皆様につきましては営農部までご相談ください。



▶ 畑地の産地資金について国との事前協議が終了しました

平成23年度より実施が予定される畠地の産地資金について、対象とする内容等について、北海道と国が協議を行っておりましたが、事前協議が終了し、次のとおりまとまりましたのでお知らせいたします。

畠地の産地資金については、全国30億円のうち、北海道には27.2億円が配分されます。

畠地の産地資金の使途につきましては、「てん菜」及び「でん粉原料用馬鈴薯」を対象とした、収量・品質の安定・向上に向けた取り組みや、省力的な栽培技術に対し支援することを目的としております。

でん粉原料用馬鈴薯については生食・加工用等により仕向けられるものについても対象となります。

内容・助成単価は次のとおりです。【次ページへ】

1. てん菜（水田作含む）

(円/10a)

	内 容（助成対象）	助成単価
基 本 枠 (一つ選択)	<p>①湿害対策 心土破碎（サブソイラ、プラソイラ等施工）、堆肥施用、明暗渠の施工、心土改良（カッティングソイラ等施工）、畦間サブソイラ施工、畦間土壤透水性改善（カルチベータ等施工）</p> <p>②育苗・移植における省力化 ・粉殻を利用した育苗ポットの軽量化技術 ・省力型移植機（全自动4畦以上の省力化が期待出来るもの）の活用。</p>	3,500円以内
加 算 (追加で選択可能)	③高度施肥管理 土壤診断に基づく施肥設計を実施した圃場。（原則として前作物の収穫後から対象作物の移植・植付までの期間内に対象圃場に置いて土壤診断を実施し施肥設計をする。ただし、過去4年に実施された土壤診断結果を用いての施肥設計も該当とする）	500円以内
	④直播栽培	1,500円以内

2. でん粉原料用馬鈴薯（水田作含む）

(円/10a)

	内 容（助成対象）	助成単価
基 本 枠 (一つ選択)	<p>①湿害対策 心土破碎（サブソイラ、プラソイラ等施工）、堆肥施用、明暗渠の施工、心土改良（カッティングソイラ等施工）、畦間サブソイラ施工、畦間土壤透水性改善（カルチベータ等施工）</p> <p>②省力的作業機械等の活用した取り組み ・早期培土 ・ソイルコンディショニング栽培技術 ・省力型播種機の活用</p>	3,500円以内
加 算 (追加で選択可能)	③高度施肥管理 土壤診断に基づく施肥設計を実施した圃場。（原則として前作物の収穫後から対象作物の移植・植付までの期間内に対象圃場に置いて土壤診断を実施し施肥設計をする。ただし、過去4年に実施された土壤診断結果を用いての施肥設計も該当とする）	500円以内
	④シスト抵抗性のある「でん粉専用品種」の導入 対象となる品種としては、アーリースターチ、アストルテ、ナツフブキ、サクラフブキ、コナユキ等	1,000円以内

対象圃場の確認方法は、てん菜の作付面積は共済引受面積または圃場図等で農協が確認（必要に応じて実測）します。でん粉原料用馬鈴薯の作付面積は換算面積（工場出荷数量／当年単収）となります。取組実施面積の確認は作業日誌、圃場図、種子購入伝票等で確認します。作付面積と取組実施面積の小さな方が助成対象面積となります。

支払時期は換算面積に工場出荷数量を確定させる必要があること、交付対象比率を用いることから、てん菜・でん粉原料用馬鈴薯の数量払いと同程度の時期を予定しております。（生産年の翌年である3月頃）

農産部通信 農産部 農産課・施設課

▶ごぼう栽培技術講習会



ごぼう部会では、3月4日に昨年の作柄を踏まえ栽培技術の再確認と、品質の良いごぼうの生産に向け㈱渡辺農事の安達様を講師に招きごぼう栽培技術講習会を開催いたしました（写真）。

講習の内容については、ごぼう栽培に適した圃場条件、発芽率向上、陥没対策、管理作業、収穫作業、やけ症、ゴマ症の発生原因などの項目で講習をして頂きました。

講習の中でも陥没対策として、トレンチャーをかけた処をトラクターのタイヤで鎮圧をかけたという事例が紹介され、出席者の皆様からも驚きの声がありました。しかし結果まではわかっておら

ず残念でしたが、鎮圧の必要性を再確認いたしました。

ゴマ症についてはキタネグサレセンチュウが影響を与えるということで、詳しく説明を受けました。輪作体系も重要で、センチュウを増やしてしまう作物、減らす方法、などについて出席者全員が興味を持って聞いていました。

最後にその他の野菜について質問の後、講習会を終了しました。

今後の栽培技術向上に向け、役立てて頂きたいと思います。



▶㈱虎屋との福白金時契約栽培研修会・産地交流会の開催 平成23年福白金時契約栽培に向けて

去る2月24日、㈱虎屋を招いての福白金時栽培研修と産地交流会を開催致しました。

福白金時の契約栽培は、平成20年から3年目を迎え、㈱虎屋からも、渡辺取締、御殿場工場職員も来所、池田の福白金時を使った白餡最中を食しながらの研修となりました。

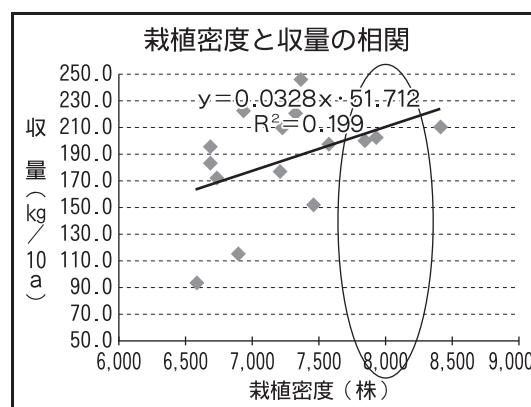
生産者は昨年の契約栽培参加者15名のうち11名の参加により行われ、研修内容は、平成22年度の生産状況や気象状況を振り返り、平成23年度の契約栽培に向け栽培技術の再確認を行いました。

㈱虎屋星野課長からは、今後も契約栽培の継続を強く望んでおりますが、不況の影響から消費の減退や契約栽培豆備蓄もあり、平成23年度については契約数量を若干落とす必要があるとのことでした。

平成23年度栽培上の再確認として、昨年の生育状況や栽培履歴を振り返り、種子消毒（タネバエ対策）、除草剤適正使用（土壤処理剤処理のポイント）、病害防除（かさ枯、菌核病、炭そ病）、そして福白金時の特有の茎折れ対策として、栽植密度の向上（目標株立本数：16,000本/10a、1株2本立）の必要性を確認しました。

また、昨年のデータからも、栽植密度（10a当たり株立て本数）と単収は正比例関係にあり、栽植密度が上がるほど単収も向上する傾向がはっきりと出ており、栽植密度を上げることが茎折れ対策と同時に収量の向上に結び付くことが明確となりました。

その後の懇親会にはご夫婦で参加される生産者もあり、和やかな交流が行われました。



▶玉葱保管試験実施

一昨年（H21）の天候により玉葱の不乾燥が思うようにいかず、品質の低下等があった為、施設課としても保管状態にも影響があるか、倉庫格納時より3保管場所で2か月間の試験を実施致しました。

	貯蔵月日	総重量(kg) (4基合計)	試験計量日	総重量(kg) (4基合計)	減耗	
					(kg)	割合
馬鈴薯3号倉庫 〔外気導入冷却〕	10月22日	4,872	12月22日	4,817	55	1.2%
牛蒡選別場 〔内気循環冷却〕	10月22日	4,843	12月26日	4,775	68	1.6%
玉葱冷蔵庫 〔内気循環強制冷却〕	10月22日	4,889	12月22日	4,847	42	0.9%

※品種と生産者は統一し原料4基としています

【結果】

平成22年産については乾燥も良かつたこともあり、製品の差は見受けられませんでした。また、3倉庫での1基当たりの減耗差は殆どありませんでしたが、自然冷却よりはやはり強制冷却倉庫の方が減耗率は低い結果となりました。

尚、馬鈴薯3号倉庫及び玉葱冷蔵庫での原料の皮剥けに差はありませんでしたが、牛蒡選別場の原料については2倉庫より若干皮剥け発生率が多いです。

保管試験も初年度ということもあります、今回の結果を参考に次年度も試験保管を実施することにより、良い製品づくりと歩留まりアップに努力致します。

▶洗い芋(食用)保管試験実施

昨年12月に洗った馬鈴薯の品質の変化や、保管状況の調査を実施致しました。通常は水洗いした芋は日持ちが悪いのですが、保管を一定条件で行い馬鈴薯4号倉庫（外気導入型）で保管し原料と製品の変化を観察致しました。（試験品は黒土の男爵・メークイン）

洗うことによって芋肌や傷がはっきりと目視でも分かるため、その後の変化も合わせて調査した結果、下記の表の通りとなりました。

	庫内温度 (月平均)	庫内湿度 (月平均)	外見・質量	変化内容
12月	1.9	70%	変化ナシ	芋肌、キズも変化が見受けられない
1月	1.5	67%	変化アリ	男爵・メーク共脱水症状発生（1/14芋に皺が発生）
2月	1.5	82%	変化ナシ	減耗しているとの判断での計測/10kg当り200g減
3月	1.6	84%	変化ナシ	2月減耗後製品変化はしていない

※男爵・メークインはミニコンテナ（各20kg入れ）に入れ保管

1月中旬以降の芋についての品質は青果向け品としては損なわれ、保管後42日間程度で加工向けへの品質となりました。

比較試験では細かな点で保管条件に差があり、製品に反映することが難しく、今後の課題となります。さらに試験する手がかりの一つともいえると思います。



畜産部通信 畜産部 畜産課

2月家畜市場成績（ホクレン十勝市場・十勝中央家畜市場開催分）

肉牛市場上位5傑（去勢）

【体重(kg)・金額(円)】									
2月14・15日	父	母の父	母の祖父	日令	体重	価格(税込)	kg単価	日令単価	D G
1	勝忠平	平茂勝	平茂勝	250	332	517,400	1,860	2,470	1.21
2	平茂晴	安平	隆桜	302	375	607,950	1,621	2,013	1.14
3	安平照	平茂勝	福桜(宮崎)	313	344	602,700	1,752	1,926	1.00
4	安平照	金幸	平茂勝	276	321	596,400	1,858	2,161	1.05
5	百合茂	安平	福桜(宮崎)	302	375	595,350	1,588	1,971	1.14
全 体	十勝平均			284	299	488,858	1,632	1,740	0.96
	J A十勝池田町平均			282	301	504,714	1,676	1,807	0.97
十勝最高	北乃大福	平茂勝	北国7の8	251	322	622,650	1,934	2,481	1.16

肉牛市場上位5傑（メス）

【体重(kg)・金額(円)】									
2月14・15日	父	母の父	母の祖父	日令	体重	価格(税込)	kg単価	日令単価	D G
1	安平照	平茂勝	福桜(宮崎)	324	278	471,450	1,696	1,455	0.77
2	百合茂	金幸	神高福	305	296	465,150	1,571	1,525	0.88
3	北平安	平茂勝	糸光	298	337	452,550	1,343	1,519	1.04
4	安茂勝	茂重桜	糸晴波	299	331	451,500	1,364	1,510	1.01
5	糸福(鹿児島)	平茂勝	安平	271	314	444,150	1,414	1,639	1.06
全 体	十勝平均			297	286	393,374	1,375	1,336	0.87
	J A十勝池田町平均			293	282	379,050	1,343	1,303	0.87
十勝最高	平茂晴	平茂勝	安福165の9	281	347	1,795,500	5,174	6,390	1.14

主要種雄牛別成績（去勢）【金額(円)】

	種雄牛	取引頭数	平均価格(税込)
1	北平安	83	486,707
	安茂勝	83	470,780
3	百合茂	45	518,023
4	平茂晴	42	539,150
5	福安照	40	507,623

主要種雄牛別成績（メス）【金額(円)】

	種雄牛	取引頭数	平均価格(税込)
1	安茂勝	61	384,403
2	北平安	52	376,506
3	平茂晴	29	461,095
	茂勝栄	29	365,255
5	福安照	28	397,575

F1・育成・乳牛・馬市場【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
2月2日	乳牛育成	493	274,808
2月8日	乳牛初妊	555	593,876
	乳牛経産	93	374,195
2月16日	F1去勢	1,102	323,752
	F1メス	1,193	263,351
2月22日	乳牛初妊	509	618,398
	乳牛経産	231	314,495

枝肉市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
2月5日	黒毛去勢	A-5	1,863
		A-4	1,607
		A-3	1,435
2月19日	黒毛メス	A-5	1,933
		A-4	1,572
		A-3	1,400
F1去勢	B-3	B-3	1,207
		B-2	1,085
		B-3	1,051
F1メス	B-2	B-2	1,020

十勝中央家畜市場【金額(円)】

開催月	区分	価格(税込)
2月	乳牛才ス初生	55,472
	F1才ス初生	166,201
	F1メス初生	107,468



▶「十勝新ETシステム」平成23年度事業継続のご案内 —

本事業は、ETを活用した新たな和牛受精卵の供給手法・移植体系を確立することを目的に、平成22年1月よりスタートしております。当JA管内においても、これまで酪農家・肉牛農家の皆様より都度お申し込みを頂いており、現在のところ高い受胎率にて実施されております。

つきましては、平成23年度事業（4～3月）も同条件にて実施されることとなりましたので、事業内容について再度ご紹介するとともに、年間スケジュール等についてもご案内致します。

事業の内容

- JAが窓口となり、毎月1回、受精卵移植日を生産者へ連絡（取りまとめ）。生産者は受卵牛候補（借り腹）をJAへ報告し、JAから全農ETセンターへ報告する。
- ETセンターは受卵牛の選定および発情同期化処置を行い、移植の当日、和牛新鮮卵をJAの指定先まで配送し移植を実施する。
- 受精卵の移植は、JAが指定した獣医師、ET師が行う事とするが、依頼がある場合に限り、ETセンター職員が移植作業を行う。
- 同期化に係る費用はETセンター負担とする。
- 本事業に使用する種雄牛は「平茂勝」「勝忠平」「百合茂」「安福久」「平茂晴」「北乃大福」に限定する。
- 供卵牛の血統は、新鮮卵であるため生産者が選択することはできない。
- 受精卵価格については、全農の価格表による。

作業の流れ

お申し込み頂いた受卵牛候補（借り腹）に対して、「PRID+PG法」により、発情の同期化処置を実施します。

<作業の流れ（4月（次回予定）の場合）>

- | | | |
|-------|----------|---------------------|
| 4月25日 | PRID in | PRID（ホルモン製剤）を挿入します。 |
| 5月2日 | PG | PGを投与（筋肉注射）します。 |
| 5月4日 | PRID out | PRID（ホルモン製剤）を除去します。 |
| 5月6日 | 発情確認 | 発情兆候の確認をします。 |
| 5月12日 | 黄体確認 | 充実した黄体があるか、確認します。 |
| 5月13日 | 移植 | 新鮮卵を移植（ET）します。 |
- ※「PRID+PG法」とは、移植予定日の18日前からPRID（ホルモン製剤）を腔内に9日間留置し、除去2日前にPGを投与する方法で、PRIDを除去後、大体48時間前後に発情が来るという方法です。
- ※同期化に係る費用はETセンター負担となりますので、移植までの作業をETセンターへ依頼した場合、本事業で発生する経費は移植料と受精卵代金のみとなります。

H23取りまとめ・移植スケジュール

4月	申込締切	4月21日	8月	申込締切	8月11日	1月	申込締切	12月22日
	移植	5月13日		移植	9月2日		移植	1月27日
5月	申込締切	5月19日	9月	申込締切	9月15日	2月	申込締切	2月2日
	移植	6月10日		移植	10月7日		移植	2月24日
6月	申込締切	6月16日	10月	申込締切	10月13日	3月	申込締切	3月1日
	移植	7月8日		移植	11月4日		移植	3月23日
7月	申込締切	7月14日	11月	申込締切	11月10日			
	移植	8月5日		移植	12月2日			

※取りまとめは、これまで同様、都度FAXにて行いますので、宜しくお願ひ申し上げます。

※その他、ご不明な点は、畜産課（米川）までお問い合わせください。

理事会の動き

第1回 <平成23年3月31日>

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の脱退について
- (2) 余裕金運用状況報告書並びに保有目的区分について
- (3) 共計品の精算について
- (4) コンバイン払い下げに伴う資金対応について

★ 議案 ★

- (1) 出資金持分譲渡と新規加入承認願いについて
- (2) 出資金持分減口承認願いについて
- (3) 農地信託規程の一部変更について
- (4) JAバンク利用者保護等管理規程の一部変更について
- (5) 公社貸付牛事業の実施と転貸について
- (6) 自己査定の結果について
- (7) 関係団体への預け金の拠出について
- (8) 肥料共同購入積立金（定款第64条に定める目的積立金）の積立目標額の変更
- (9) 施設更新等積立金（定款第64条に定める目的積立金）の積立目標額の変更について
- (10) 決算監査結果の報告について
- (11) 第22回通常総会の招集および付議すべき議案並びに総会参考資料について
- (12) 第22回通常総会の議決権行使書面の取扱について
- (13) 決算書類（平成22年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表）及び部門別損益計算書の承認について
- (14) 農畜産物高品質多収穫共励会表彰及び職員永年勤続表彰について
- (15) 道条例検査指摘事項に関する改善状況等の報告について
- (16) 特定組合員の営農計画及び組勘限度の設定について
- (17) 地区懇談会の開催について

5月 今月のオススメ



撮影：大井一範

レタスと豚肉の中華炒め

材 料 (2人分)

豚肉 (しょうが焼き用) …	150g
A 塩 ………………	小さじ1/8
酒 ………………	大さじ1/2
かたくり粉 ………	大さじ1/2
レタス ……………	150g
ネギ ………………	10cm
ショウガ …………	1/2かけ(5g)
サラダ油 ……………	大さじ1/2
B ショウゆ ………………	小さじ1
酒 ………………	小さじ1
オイスターソース 小さじ1	
こま油 ………………	小さじ1

作 り 方

(1人分 約274kcal)

- ①豚肉は3～4cm幅に切って、Aで下味をつけ、かたくり粉をまぶします。
- ②レタスは4～5cm大のざく切りにします。ネギは4～5cm長さの斜め薄切りにします。ショウガは千切りにします。Bは合わせます。
- ③深めのフライパンにサラダ油を熱し、肉の両面を焼きます。肉を片側に寄せ、空いた所にネギとショウガを入れて、弱火で炒めます。しなりしたらBを加えて全体を混ぜます。
- ④レタスを加えて強火にし、大きく混ぜます。かさがやや減ったら、ごま油を鍋肌から回し入れ、火を止めます。

3月11日の東日本大震災は、国内最大の震度マグニチュード9・0を計測し、死者、行方不明者も2万人以上となり戦後では、阪神・淡路大震災を大きく上回る最大の被害となっています。まだまだ、被害の全貌が明らかになつておませんが、地震の多い十勝においても、津波の恐怖を感じさせる状況となりました。

決して、現地での支援活動が出来るわけではありませんが、テレビや新聞の情報を探し、復興に向けて見守つていきました。

「がんばろう日本！」

(S)

